

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

<p>《試料・情報の利用目的及び利用方法》</p>	<p>●研究の名称 NDB/DPC 連結データを用いた抗悪性腫瘍薬の臨床的有効性と薬剤性肺障害の発症に関する後ろ向き調査</p>
	<p>●研究の対象 匿名医療保険等関連情報データベース(NDB)または DPC (Diagnosis Procedure Combination) データベースに登録された方のうち、2015 年～2024 年に抗悪性腫瘍薬を投与された方</p>
	<p>●研究の目的 近年、新しい作用機序に基づく有効な抗悪性腫瘍薬の開発により、悪性腫瘍を有する患者さんの生命予後は大きく改善しています。しかし、一部の抗悪性腫瘍薬は高頻度で薬剤性肺障害を引き起こすことが報告されています。薬剤性肺障害は時に命に係わることもあり、悪性腫瘍患者の診療向上のためには、薬剤性肺障害の発症頻度や発症リスクの理解が不可欠です。 この研究では、本邦のレセプトデータベースである NDB (匿名医療保険等関連情報データベース) と DPC (Diagnosis Procedure Combination) データベースを用いて、悪性腫瘍薬による薬剤性肺障害の発症頻度や発症リスクを明らかにすることを目的としています。</p>
	<p>●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から (西暦) 2029 年 9 月まで</p>
	<p>●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長および厚生労働省による実施許可日</p>
	<p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。個人を識別できない状態に加工された情報が格納されているデータベースへアクセスして情報を収集します。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況等</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学 理事・副学長 須田隆文 既存試料・情報の提供機関：厚生労働省 既存試料・情報の提供機関の担当窓口：株式会社 NTT データ 第四公共事業本部 ヘルスケア事業部 NDB 第三者提供窓口</p>
<p>《外国にある者に対する試料・情報の提供》</p>	<p>この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>国立大学法人浜松医科大学</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)》</p>	<p>本研究で用いる情報は特定の個人を識別できない状態に加工されており、特定の個人に遡ることができません。そのため、患者さんや患者さんの代理人の方がお問い合わせいただいても、研究の対象になっているかを判断することができませんが、可能な範囲で研究計画書や関連資料を閲覧いただく等対応いたしますので、お申し出ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。問い合わせ先まで、ご連絡ください。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>本研究で用いる情報は、特定の個人を識別できない状態に加工されており、特定の個人に遡ることができないため、お問い合わせがあっても開示することができません。</p>
<p>《問い合わせ先》</p>	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 医学部附属病院第二内科診療科群 担当者： 宮下晃一 TEL： 053-435-2263</p>